

### 東北学院高校 夏季オープンスクール開催

八月三日、東北学院高等学校で夏季オープンスクールが開催された。今年は八月二日と十七日にも行われており、三日間で中学生と保護者九百三十二組が来校した。

第一部の全体会は礼拝体験から開始。キリスト教に基づく教育の雰囲気を感じてもらう。帆足直治校長は、スクールモットーの「LIFE LIGHT LOVE」をテーマに、実際の高校生生活を紹介。コースごとの特徴や一日の流れ、学校行事、部活動など、さまざまな角度から学校の魅力を伝えた。

第二部と三部では、入学後の高校生活をより身近に感じてもらう。キャンパスツアーは参加者をいくつかの班に分け、在校生が校舎内を案内。体育館では



足腰に負担がかからないよう床が工夫されていること、図書館では蔵書を含め約三万冊の蔵書を誇ることを説明していた。授業体験は、事前申込者を対象に「炎色反応」の本格的な実験をする化学や、新紙幣が発行されたことから「お金の歴史」をテーマにした日本史探究・世界史探究といった科目で行われ、参加者は興味深そうに聞いていた。

部活動見学では、運動部と文化部合わせて十八の部が活動の様子を公開。さらに六月に発足した生徒会執行部のチャリデーイベント「Luminas (ルミナス)」もパフォーマンスを披露した。同校では今後、十月と十一月に秋季オープンスクールの開催を予定。夏季が学校生活を知らせてもらうことを目的としていたのに対し、秋季は入試に関する説明が主な内容となる。

本院と包括連携協定を結ぶサッカーJ2のベガルタ仙台によるサッカー教室が十月二日、幼稚園で行われた。参加した年長の「ばら組」の園児三十三人は、同球団のスクールコーチと一緒に体操やボールを使った遊びで体を慣らした後、六つのチームに分かれて試合形式のゲームを行った。雲一つない青空の下、ゴールを決めて喜ぶ姿があちこちに見られ、園庭には園児たちの楽しそうな声が響いていた。

また、この日は東北学院中学校二年生の生徒七人が同校の職場体験プログラムで幼稚園を訪れており、このうち年長組を担当する二人も参加。とも

にサッカーを楽しみながら、水分補給の声掛けなど園児たちのサポートも行った。ベガルタ仙台は、本院とのスポンサー契約に基づいて二〇二二年からサッカー教室などを実施。昨年には、球団所属の郷家友太選手が幼稚園出身という縁から同選手が幼稚園を訪問し、園児たちとサッカーをするなど交流も深めている。



### 東北学院榴ヶ岡高校 オープンキャンパス開催

八月二十四日、東北学院榴ヶ岡高等学校でオープンキャンパスが開催された。残暑厳しい中、当日は中学生と保護者合わせて七百名を超える参加者が訪れ、同校への関心の高さがうかがえた。

全体説明会は武田雅道教頭が司会を務め、はじめに佐藤副校長が登壇。本校では不易と流行を大切にしながら、これまで多くの卒業生を送り出してきた。予測のつかない時代だからこそ、しなやかに生きていける人材育成に力を入れているとあいさつした。続いて砂田泰宏総務部長が、昨年



度導入された進学重視型単位制や、大学進学率、大学泉キャンパスへの移転計画、入試制度などを詳しく説明した。さらに特別進学、TG選抜、総合進学、各コースの代表生徒たちが日頃の学習内容と部活動をはじめとする高校生活の様子について、生徒

視線で大いにアピール。説明会終了後には、地理と理科の体験授業、個別相談、施設・部活動見学などが行われた。

参加した中学生は「勉強や部活動の話が聞けて良かった。入試頑張ります」と笑顔で話し、保護者は「来年度は校舎が変わってしまうようだが、いろいろと見たり、聞いたりと、榴ヶ岡高校の明るい校風を知ることができた」と話した。

充実したプログラムを通して学校の魅力を発信した今回のオープンキャンパス。入試を検討している中学生にとっては進路への理解が深まったのと同時に、同校の活気を肌で感じる貴重な機会にもなった。

### 東北学院榴ヶ岡高校

### 第55回

### 第65回

### 東北学院中学校・高等学校



### 「No Limit」 最後の校舎に 有終の美を 榴祭開催

9月6日と7日に東北学院榴ヶ岡高等学校で第55回榴祭が開かれた。同校は来年度から、隣接する大学泉キャンパスへの移転を計画中で、現校舎で行われる榴祭は今年が最後となることを受け、テーマは「No Limit (ノーリミット)! ~最後の校舎に有終の美を~」に決定した。校舎内では美術部の作品展示、物理部や生物部の研究発表、音楽部のコンサートなど文化部それぞれが工夫を凝らした展示や発表を行った。チョコバナナやクレープ、かき氷など飲食物の販売、水ヨーヨーや謎解きゲーム、射的といった出店はクラスごとにホームルームで話し合いを重ねながら企画した。生徒らは交代で店番を務めながら、他のブース巡りも楽しんでいた。実行委員は各クラスから

### 学院祭開催 「百花繚乱」



9月6日と7日、東北学院中学校・高等学校で第65回学院祭が開催された。テーマは「百花繚乱(ひゃっかりょうらん)」。共学化3年目を迎える成果を発揮し、ますます一人ひとりの個性が輝く学校というイメージを表現した。礼拝堂では放送部の司会進行で吹奏楽部や音楽部の発表。初日の野外ステージではチアリーディングチーム「Luminas (ルミナス)」がパフォーマンスを披露し、カラオケ大会も行われた。2日目は軽音楽部の演奏やプロのバンドマンをゲストに迎えてライブが行われた。野外ステージで盛り上がったのが恒例の「ミス学院」。完全共学化した今年も参加者5名全員が女装した男子で、かわいらしさや面白さをアピールしながら競い合った。校舎内では写真部、美術部などの作品展示をはじめ、書道サークルによるオーダーメイドのしおり作成、科学部園芸班のハーバリウム作成ワークショップなどが行われた。おぼけ屋敷、喫茶店、射的や型抜きといった各クラス有志の出店も多数あった。高校2年特別選抜コースの生徒は、シーソーに人を乗せて人力で上下させながら回転するアトラクションを企画。生徒が発案し、建築士として働く保護者の力を借りて実現した。実行委員長の小幡大斗さん(高校3年TGコース)は「今年は久しぶりに有志による野外での食品販売があったりと、生徒主体の祭りができてうれしい」と話した。

### 青空の下ボールを追いかける ベガルタ仙台サッカー教室開催

本院と包括連携協定を結ぶサッカーJ2のベガルタ仙台によるサッカー教室が十月二日、幼稚園で行われた。参加した年長の「ばら組」の園児三十三人は、同球団のスクールコーチと一緒に体操やボールを使った遊びで体を慣らした後、六つのチームに分かれて試合形式のゲームを行った。雲一つない青空の下、ゴールを決めて喜ぶ姿があちこちに見られ、園庭には園児たちの楽しそうな声が響いていた。

また、この日は東北学院中学校二年生の生徒七人が同校の職場体験プログラムで幼稚園を訪れており、このうち年長組を担当する二人も参加。とも

にサッカーを楽しみながら、水分補給の声掛けなど園児たちのサポートも行った。ベガルタ仙台は、本院とのスポンサー契約に基づいて二〇二二年からサッカー教室などを実施。昨年には、球団所属の郷家友太選手が幼稚園出身という縁から同選手が幼稚園を訪問し、園児たちとサッカーをするなど交流も深めている。



## 2025年度 推薦・一般入試生徒募集概要 (東北学院中学校・高等学校、榴ヶ岡高等学校)

試験種別	募集定員	日程	お問い合わせ先
中学校	◆特別選抜コース   男女180名 ◆総合コース   (前期・後期合計) ※ただし、特別選抜コースは30名程度	願書受付 / 12月2日(月)~12月20日(金) 試験日 / 1月7日(火) 合格発表 / 1月8日(水)17時	〒983-8565 仙台市宮城野区 小鶴字高野123番1 TEL: 022-786-1231(代) FAX: 022-786-1460
	◆特別選抜コース   男女180名 ◆総合コース   (前期・後期合計) ※ただし、特別選抜コースは30名程度	願書受付 / 1月14日(火)~1月22日(水) 試験日 / 1月25日(土) 合格発表 / 1月27日(月)17時	
高等学校	◆特別進学コース自己推薦→男女60名程度 (自己推薦入試・一般入試合計) ◆TG総合コース推薦 ▪第I類→男女50名程度 ▪第II類→男女若干名	願書受付 / 12月23日(月)~1月8日(水) 試験日 / 1月15日(水) 合格発表 / 2月5日(水)17時	〒981-3105 仙台市泉区 天神沢二丁目2番1号 TEL: 022-372-6611(代) FAX: 022-375-6966
	男女360名(一般A・B日程、推薦入学者及び併設中学校進学者合計) ※ただし、特別進学コースは60名程度(一般入試・自己推薦入試合計)	願書受付 / 12月23日(月)~1月22日(水) 試験日 / 【A日程】1月30日(木) 【B日程】2月3日(月) 合格発表 / 2月5日(水)17時	
榴ヶ岡高等学校	◆特別進学コース30名	願書受付 / 12月23日(月)~1月7日(火) 試験日 / 1月15日(水) 合格発表 / 1月16日(木)15時	〒981-3105 仙台市泉区 天神沢二丁目2番1号 TEL: 022-372-6611(代) FAX: 022-375-6966
	◆TG選抜コース30名 ◆総合進学コース60名	願書受付 / 12月23日(月)~1月22日(水) 試験日 / 【A日程】1月30日(木) 【B日程】2月3日(月) 合格発表 / 2月6日(木)15時	

※上記は概要となりますので、詳細は各校の生徒募集要項をご確認ください。